

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・渋谷区という都心にある保育園だが、散歩に出ると代々木公園など自然に触れられる公園が多くあり、子どもたちは季節毎に身近な自然に触れて興味関心を深めている
- ・様々な事への探求心が深く、活動への興味を持って意欲的に関わる姿が多く見られる

2. 活動スケジュール

春 散策を楽しみながら身近な植物に触れて楽しむ

夏 夏野菜を育て観察しながら成長の様子に興味を持つ
遊びを通して風の動きや変化に興味を持って遊ぶ

秋 身近な自然物に触れて遊び込む

冬 講師を招いてこれまでの活動を深めながら自然に触れたり、探求を深めていく

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・花紙、新聞紙、風船
- ・うちわ
- ・パラバルーン

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・うちわで風を作って、風の動きや強さに興味を持ち色々試す
- ・紙吹雪を作ってみる
- ・風や空気の動きや力を感じながら運動会に向けてパラバルーンの練習をする
- ・「うちわで風作り」を取り入れて運動会の親子競技を行う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

うちわをあおいで涼みながら、紙などに向けると動きがあることに気づくと身近なものをあおいで動かしてみようとしたりし始めたので、たくさんの紙を集めて友だちと力を合わせて扇ぐ活動を行う。扇ぐ人数を少ない人数から大人数まで変化させたりして紙吹雪が舞う様子の違いに気付けるようにした。大量の紙吹雪が天井近くまで舞う様子に大興奮の子どもたちは大盛り上がりで楽しんでいた。この活動を運動会の親子競技に取り入れるまでに広がった。パラバルーンでの取り組みでは大きく膨らませる為にはどうしたらよいかという話し合いの中でうちわで風を作った経験を思い出して発言する姿があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

「風」という一つの物が様々な活動につながった。風作りが盛り上がっていくうちに乳児組を誘って遊び、異年齢の関わりを深めるきっかけにもなった。風作りの活動後、パラバルーンに取り組めた事は「力を合わせて空気を入れる」という事へのイメージの理解につながっていた。